

子ども議会 開催される。

1月17日

愛荘町では、例年、町内の小学生・中学生を対象に「愛荘町子ども議会」を開催しています。今年度は、小学生による子ども議会を開きました。その目的は、未来を担う子どもたちに、町の仕事や議会の仕組みを理解してもらい、町政（政治）をより身近なものとして感じてもらうこと、また、子どもたちからの要望や意見を受け止め、今後の町づくりの参考とすることです。実際の議場で、臨場感のある体験を通して、子どもたちの今後の学習に活かしてもらいたいと考えています。



町内小学校の生徒17人が子ども議員になり、議長が進行して一般質問をし、子ども議会宣言は全会一致で承認されました。

子ども議会宣言

私たち子ども議員は、愛荘町の「人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育」の理念を大切に、中学生の代表として次のことを宣言し、各学校で、この精神に基づいて、主体的な活動に取り組みます。

一、愛荘町の未来を担う一人として、自分を鍛え、勉強や芸術スポーツにどんどんチャレンジします。

一、一人ひとりがルールを守り、いじめのない安心できる学校を作ります。

一、お互いの気持ちを理解するとともに、地域の人と人とのふれあいを大切にします。

一、愛荘町の恵まれた自然に感謝するとともに、誇りに思い、ふるさとの環境を大切にします。

令和6年1月17日

愛荘町子ども議会

にしかわ たいせい 議長
(秦荘西小学校)

愛荘町をよりよくするための話し合いに議長と言う立場で参加できて、とても光栄でした。重要な議会で議長として話し合いを仕切るという新鮮なことができて楽しかったです。

地域みんなが楽しめるイベントについて

問

現在の愛荘町は、66かまど祭のような地域の人がたが楽しめるイベントが少ないと感じています。イベントの数が少ないため、地域の交流や思い出をつくる機会も少ないです。コロナも落ち着いてきたので、もっと町がにぎやかになるようなイベントを増やしてほしいです。

答 (みらい創生課参事)

町が実施するイベントは、町民を対象に親子で楽しめるものを多く開催しています。提案のワンコインで楽しめるイベントについては、町のイベントの中に子ども向けのブースを設けるなど工夫をすること、町が賑わう大人から子どもまでが楽しめる催し

答 (健康推進課参事)

メディアの発達に伴い運動離れが続く中、歩く歩数や名所を訪問しポイントが貯まる健康増進アプリの取組みを開始しました。運動を始めるきっかけとして多くの方々にご利用いただいています。

こにし はるな 議員
(秦荘東小学校)

威圧感が凄く、とてもきんしょうしました。質問の時は、まちがえないうっかり記憶に入れました。なかなかできない体験だったのでとても楽しかったです。

わき こな 議員
(秦荘東小学校)

沢山の人が出て、思ったよりきんしょうしました。質問の時は、練習の成果が出せず早口になってしまいました。ですが、議会は大切だということが分かり、とても良い経験になりました。